

今ご紹介をいただきました、阿智村の村長をやっています熊谷と申します。今、いろいろと紹介を頂いたのですが、実は今朝「めざましテレビ」で星のことが出たのですが、ごらんになった方はいますか。何人か。そうですか。今、実は阿智村は星のことで何とか、地域おこしをしたいということでやっておりますので、そのようなことも含めまして、皆さんがこれから公務員として羽ばたいていくために、どのような心構えでやっていったらどうかとか、地域振興のため、そして住民の幸せのために、どうやっていったらいいかということ、前半は気持ちの問題から入りまして、そして自分たちの地域の将来の姿を後半に話をさせていただきたいと思っております。プログラムを見ますと、2日間という日程で、これから行政の書類の作り方や、心構え、マナーなどがありますが、私の方は与えられた1時間ありますので、皆さんリラックスして聞いていただけるように、お願いしたいと思います。

さて、皆さん、約1カ月がたちました。心躍らせて、公務員の試験の難関を突破いたしました、ご就職されました。まずは、まことにめでとうございます。それぞれの部署に配属されて、確かに自分が、例えば高校や専門学校、大学で勉強してきて、そして社会人からいざ公務員になられて、配属されて、自分がこんなはずではなかったのになどと思っている方もいらっしゃるかもしれません。1カ月たちますと、やっと職場の皆さんの名前を覚えたり、住民の方の名前も覚えたり、役所の中の仕組みをわかってきたところで、やっと落ちついたかとは思いますが、それで、きっと歓迎会も何度も何度もあって、恐らく昨夜もあって、今日は2日酔いの方もいらっしゃるかと思いますけれども、またそのようなこともとても大事ですので、今日は途中で寝てしまうかもしれませんが、この2日間をしっかりと聞いていただいて、自分のものにしてもらいたいと思います。

と同時に、新人の皆さんがこのように同じ町村単位で集まるということはなかなかないと思いますし、本当に、同期のみんなは、ずっと、退職するまで大事な仲間ですので、ぜひ今日を機に仲よくなってもらって、これから悩み事がたくさん出てくると思いますので、仲良くお願いしたいと思います。これから部署に分かれてしまうと、ほとんど、同期と話をする機会がなかなかないですね。青年部の活動などでいろいろ会う機会もあると思うのですが、そのようなことで、ぜひ、携帯の連絡も取っていただきたいと思っております。

さて、それでは、今日は130名くらいですね、大勢の方が来てくださっております。私も飯田・下伊那ということを中心に話をさせていただきますが、上伊那の皆さんも大勢お見えになっておりますので、そのような面では行き届かなかった面もあるかと思いますが、自分の地域を知ること、ぜひ知ってもらいたいと思いますので、そのようなことでお許しいたいて、話をさせていただきたいと思っております。後ほど映像が出ますので、後半になりますが、最初は座学という感じで聞いてもらいたいと思います。1枚目の「講話」と書いたA4の紙があると思いますので、これを見ながらお願いしたいと思います。

私の経験も踏まえてお話をさせていただきますが、先ほども言ったように、皆さんはな

ぜ公務員になったのか。もちろん社会人、例えば他の企業から入ってきて、私は公務員になりたい、地域のために働きたいのだというところまでなっている方もいらっしゃると思います。なかなか、最近は景気が少しずつよくなって、飯田・下伊那の求人倍率も1%を超えて、企業もなかなか欲しいということもあって、本当に数年前までの景気が悪かったころは、公務員試験などはかなり難関でしたし、皆さんが入ったときも大変だったと思いますが。われわれが恐らく面接官として皆さんを面接させていただいて、何かきらりと光るものが、もちろんテストの点もあったのだけれども、面接などで「どうして公務員になったんですか」と聞かれて、皆さん一生懸命答えたと思います。ぜひ、そのときの気持ちをずっと持って、これから仕事に励んでもらいたいと思っております。

きっと、一番上にも書いてあるのですが、なぜ公務員になったかと聞いたときに、住民の幸せのために何とか働きたいのだとか、地域のために働きたいのですよということを皆さんは言うと思います。これは間違いないことだと思います。

では、私の経験から一つお話をさせていただきますと、実は私も、このような村長という立場になって、今3年目を迎えております。ある意味、皆さんと同じような、そのような面では新人になります。行政という職には今までなくて、経済界という、商工会議所というところで働いていたものですから、それもどのようなことをしているか、多分、知らない方も多いと思うのですけれども、このようなお店や事業所がたくさんあって、そのような人たちのために働くところにいました。地域の皆さんにもそのようなことでお話をさせていただいて、このような立場になったものですから、では、自分がなぜこのような立場になったのかなど、これは皆さんと同じような気持ちかなと思って、考えております。

私も昔から、地域のことですらいろいろ活動したりすることが好きだったものから、きっと皆さんもそうだと思うのです。公務員になったからには、何とか、地域のためにやりたいので、小さなころからいろいろ地域の活動に出たり、役所に行って対応してくれる姿を見たりということによってやってこられたと思います。それで、確かに、人のために役に立ちたいなという仕事もあったものから、実は私も公務員を志望して、今から二十何年前に公務員試験を受けました。たまたま自分の村では採用の枠がなかったものから、仕方がなく、今の飯田市役所と県の職員を受けました。残念ながら落ちて、そのようなことで、先ほど言った商工会議所……。ごめんなさい。その前に旅行代理店に内定をもらっていたのですが、兄弟がいなかったものから、地元に戻ってこなくてはならないという親の、ひしひしと伝わっていたものから、では、地元で何とかその内定をけて就職しようということで就職して、実は商売をやっている人のために働いてきました。これは、きっと皆さんもそのような経験が幾つかあると思うのですけれども、やはり会社でも一緒ですね。会社の、例えば金融機関にお勤めになったら、金融機関のお客様のために一生懸命働く。例えばいろいろなお店に勤めたら、そのお客様のために働くということですが、われわれ公務員になると、住民という本当に広い立場の皆さんのために働くということになります。

ただ、それだけで本当にいいのかなということが私の思いでした。私は飯田市で働いていたものですから、もちろん飯田市の商売の皆さんのために働いていたのですが、どうせやるのだったら自分が住んでいるところのために働きたいなということが実は一番の理由だったのです。自分の住んでいるところのために働くということは、自分の生活のために、そして例えば自分の親のために、あるいは家族のために、私も子供がいますけれども、子供がこれから学校に入ったときに、子供の教育がうまくいくように働くためなのだなということが最終的になったことが一番の理由でした。ですので、皆さんもおぼろげながらも、人のためにということがあるのですけれども、結局はやはり自分のところに返ってくるものですから、そのような思いを一つ持ってもらいたいかなと思いました。

もちろん、例えば自分の住んでいるところと勤めているところが違う方もいらっしゃいますね。それは仕方がないことですが、与えられた部署でその地域のために、自分が勤めたところのために働くということは、結局は、最後は自分のために、市町村が違って、飯田・下伊那、また上伊那地域のために、南信州のために、何とかなるといふ発展になりますので、ぜひ考えていただきたいと思います。

それから、例えば、自分は大学の農学部を出ただけけれども税務課に配置されてしまったというような人もいないのではないですか、きっと。全く違うところに来てしまったかなということがあると思います。特に若い人たちは、若いうちにいろいろな見識を広めてもらいたいということで、どこの自治体もそうですけれども、2、3年くらい、どんどん動かしていきます。というのは、自分が行政のことを動かせるようになったときに、いろいろな見識を持っていると、やはり違った角度で見られるということがありますので、今とにかく配置になったところでまずは一生懸命やってもらって、いろいろ悩むこともたくさんあるでしょう、本当に苦しいこともあるでしょうけれども、ぜひ今の立場で頑張ってもらって、また違うところに行ってそこでも頑張るといふことの積み重ねで、きっといい公務員、また仕事をする人になると思いますので、お願いしたいと思います。

それから、その下に、私もいろいろやってきて、人と人との付き合いや、道理に合わないことがあるのですが、まさにこれは、社会人を経験されている方もそうですが、特に公務員の皆さんはそうです。毎日毎日、多くの人と行き会いますね。初めて行き会う人とたくさん会うと思います。多分もう経験されていると思いますが、昔のことを引っ張り出してきて、昔こうだったからどうだといふ文句を言われた人もいて、困ったことがあるのではないですか、お客さんの対応をして。もうそのような経験がある人はいますか。まだそのようなことはないですか。きっとあると思います。3番目に書いたのですが、道理に合わないことといふところもあると思います。これは本当に仕方がないこともあるのですが、ぜひ、自分がやったことではなくても、実は、先ほども言ったように、異動があつて、どこかの部署に移ったときに、そのようなことはしっかり受けとめて、自分の判断でしないように、そして、しっかり上司に相談して、このような場合はどうしたらいいかといふことをしっかり受けとめて、聞いてあげて、それは自分が怒られる場合もあると思うので

すけれども、やってもらいたいなと思っております。

学生時代から初めて社会人になった方は本当に戸惑う場面が多いと思うのですけれども、やはり人の話を聞いて、解釈して、そして上司にもしっかり相談して、その人に親切に伝えてあげることが非常に大事だと思います。そうすると、住民の方は、例えば何々役場の何々さんを頼ってこれから来るようになると思います。何々市役所の何々さんを頼って来ると思いますので、やはりそのような、自分が住民に頼られる職員、また公務員になってもらいたいと思います。そのような人を増やせることが、これから人づき合いにおいて本当に大切だと思います。もう現にいろいろ、これから自分が10年、20年たってくると、本当に困ることがたくさんあるのですけれども、電話一本で「何々さん、こういうことから頼むよ」と言うと、「あなたに言われりゃ仕方ないな」ということが山のようにありますので、ぜひ、そのような人脈づくりを、職場の人たちだけではなくて、住民の方ともつくってもらいたいと思います。これは私が二十数年間やってきた社会人としての経験でございますので、お願いしたいと思います。道理に合わないこともたくさんあります。

もちろん、ここにも書いてあるのですが、公務員の皆さんは、これから条例や規約など、一つ一つのことをやることによって、全部文章で起こされて、それに沿ってやらないと、いざ違ったことを言ったときに、議会からいろいろ言われたり、住民から言われたり、する場面もありますので、条例に本当に自分のやっている仕事が接しているかということをご希望したいと思います。

それから、守備範囲の広さということもあります。これも、先ほど言ったように、行政になりますと、例えば観光だけ、商工業のことだけをやっていけばいいということではありません。農業のこと、建設のこと、健康や福祉、教育のこと、そして議会の対応、本当にありとあらゆることをこれからみんなはやらなくてはいけなくなってきます。私も、先ほど言ったように、商工業や観光、幾分農業のことばかりをずっと二十二年やってきたものですから、正直、健康のこと、福祉のこと、教育のことには全く疎かったのです。ただ、健康のこと、福祉のことや教育のことは、いろいろな問題が毎日のように起きてきます。待ったなしです。もう子供の命にかかわることですね。子供ではなくても、お年寄りの命にかかわることです。商工業のことは特に未来にわたることが多いので、いつか、数年かけてやればいいということがありますが、今言った健康、福祉のことは命にかかわることなので、待ったなしに来ますので、先延ばしにするわけにはいかない判断があります。きっと、みんな、そのような対応をされる方もいますし、この中にも保育士の方もいらっしゃると思いますので、やはりいろいろな対応をすぐにしなくてはいけないということもあります。皆さんがこれからそのような場面についたときに、ぜひそのようなことも忘れないように、守備範囲が本当に広いということも忘れないでいただきたいと思います。

それから、特に、若い皆さんには、失敗を恐れないことや、夢を持つ、若い発想でチャレンジということ、ここはぜひ押さえておいてもらいたいと思います。どうしても、数年たっていきますと、今の仕事で満足していけばいいや、今いる3年か4年くらいまで何と

かうまく過ごせればいいやということを思いがちなのですけれども、ぜひ皆さん、ふだん疑問に思っていることなどをどんどん先輩にぶつけていただいて、「僕はこういうふうと思うんだけど、どうですかね」ということを、若いなりに、皆さんが不思議に思っていることや、こうしたらいいのではないかとということ、を、どんどん新しい発想で、失敗を恐れないようにやってもらいたいと思います。失敗はしてもいいと思います、チャレンジして。何もせずに、失敗せずにいくという方法もあるのだけれども、何かやってみて失敗することは、それで経験して覚えていくことですので。ただ、大きな失敗をしてはもちろんいけませんので、自分がやる時にはしっかり同僚や上司などに相談して「こういうふうにしたんだけど」というところで始めて失敗するならいいと思いますので、最小限にまず失敗を抑えて、そしていろいろなことを繰り返しながら、いい仕事ができると思いますので、お願いしたいと思います。

普通の会社ですと、もしみんながもう3、4年たつと、営業マンや、例えば経理をやっている方はお金を動かせるようになるのですが、何百万、何千万単位を自分の仕事の中で使えるのですが、行政となりますと、何億単位ということ。飯田市さんの1年間の予算が250億円くらいでしょうか。私ども阿智村は50億円ぐらいの予算になっていますが、本当に、使える予算の桁というものが全く。特に、民間から来た方はびっくりすると思います、行政の皆さんが使えるお金に。自分がもし担当になったときに、自分がこのようなことに何千万使いたいだけれどもというような提案も、もう2、3年したら、できる可能性があります。ですので、少しお金に麻痺してしまう部分もあるのですが、そのような大きなことをできるところが公務員のまたよさですので、そのようなことを上司と相談して、そのときの市長に言って、どうだろうかということが出来ますので、そのようなメリットもあります。そのかわり、リスクも大きいです。責任の度合いも大きいですが、ぜひお願いしたいと思います。

それで、皆さんお戻りになっていただいて、それぞれの市長さんや町長、村長さんたちが、どのような思いで今まちづくりをやっているかということを考えていただいて、自分の仕事をどのようにすればその思いに達することができるのだということもぜひ考えながら、それに沿った方針でやってもらいたいと思います。なかなか一概には、簡単にはいかないとは思いますが、一番は住民の幸せのために、自分の幸せのために、どのような事業をやれば、みんなが楽しんで幸せに暮らせるのだということが一番の基本ですが、その町、村、市に沿った、市町村の方針で、いろいろな方針があると思います、たくさん。総合計画が昔からあると思いますので、そのようなことも合わせた段取りができる、また仕事ができるといいかと思しますので、お願いしたいと思います。一つめのポツがそのようなことです。

次、飯田・下伊那を知る、自分の地域を知るということをぜひ見てもらいたいと思います。すみません、飯田・下伊那だけではなくて、上伊那地域の皆さんも来ていらっしやいます。自分の地域を知るということをまずお願いしたいと思います。

皆さんのお手元に「いいとこなんだに南信州」があります。飯田・下伊那地域だけのパンフレットになっているのですが、上伊那の皆さんにもこのようなものがあると思いますので、ぜひ、お帰りになって、自分の地域がどのようなところかを見てもらいたいと思います。これはもしかしたら初めて見た方もいらっしゃるかもしれませんが、特に飯田・下伊那地域の方は、自分の町村がそれぞれ載っております。ぜひ、この2日間の研修の中でもこれを読んでいただいて、これは人にスポットを当てて書いてありますので、このような人たちがいて、このような村づくり、そして、これは各市町村の方針にも沿っているやっておりますし、ぜひ見てもらいたいと思います。

それで、この南信州地域といいますか、上下伊那の地域は本当に、また後ほど話をしますが、この一番後ろに地図が載っておりますので、見てもらいたいのですが、将来リニア中央新幹線が通ったり、三遠南信自動車道が通ったり、長野県でも縦の中央道が通ったり、いろいろ実はこれから大きく変わる地域になります。まず、これは皆さん、これから仕事を始めるときに、自分の地域を知っているかというところをお願いしたいと思います。ぜひ、ゴールドウイーク中にいろいろ基礎知識を入れてもらいたいと思います。きっと皆さん、面接のときに、いろいろ調べて、調べたあげく、質問されるかもしれないので覚えてきたと思うのですが、まず自分の住んでいるところが、人口は何人いるか、その町や村の花や鳥や木は何か、高齢化率は何%か、生産年齢——皆さんのような若い世代は何人いるかなど、ぜひ、そのようなところを押さえておいてもらいたいと思います。

ちなみに、飯田・下伊那の人口は、上伊那の皆さん、申しわけないですね。16万人です。16万人います。「えっ」と言います。それで、私ども阿智村は今6,500人くらいですが、ご多分に漏れず、毎年70人ずつ人口が減っております。飯田・下伊那は全部そうだと思います。ですので、今、自分たちの市町村も、例えば人口はどのような推計ですかと。恐らく皆さん減っていますね。なので、そのようなところをまず知ってもらいたいと思います。やはりこのようなところを知らないと、自分の仕事に生かしていけないので、お願いしたいと思います。

今も言ったように、市町村の悩みはそれぞれ本当にあると思います。私どもの地域では、本当に人が減って、少子高齢化です。恐らくどのようなところも少子高齢化だし、外国人がたくさんいるとか、そのかわり企業がたくさん入っていて、いいのだけれども、住民自治やコミュニティーが取れていないなど、いろいろそのような問題もあると思うので、ぜひ今日来た同僚の皆さんと、自分の住んでいる町の強みや弱みは何だということをお願いしたいと思います。ぜひこれを読んでもらって、お願いしたいと思います。

それと、逆に、その一番下に書いています、自分の地域の売りは何かということを考えてもらいたいと思います。売りですね。自分の地域はこうしたら、将来、多くの人に来てくれるのではないかと。来てくれるだけではだめですね。やはり住んでもらわないとだめですね。住んで、税収を上げて、若い人が住んで、そして子供が生まれて、いいピラミッド状態の地域にしたいということが念願だと思います。これは上下伊那全体で見たときに、

いいバランスを取ることがありますので、自分の地域の強みは何かをまたこの2日間のうちに書いておいてもらおうといいかと思えます。帰って、自分のところの市長さんや村長さんたちに、自分の地域はこれが売りだと思えるので、もっとこれについてやったらどうかということをごひ考えてもらいたいと思えます。きっとこのことは昔から、この地域はこれが売りなのだということをやって、みんながいろいろなアイデアを出しながらやってきた、けれども実はうまくいかないというパターンがほとんどだと思えます。後ほど、また映像を見せながら、私ども阿智村がどのようなことをやっているかを見てもらいたいと思えます。その中にヒントもあるのですが、やはり自分の市や町や村は、新しく作り出すものもあるのだけれども、地域の歴史や伝統、文化、そのようなものをうまく生かしながらやる地域だと思えます。ご存じのように、東京まで行くために4時間かかったり、名古屋に行くために2時間かかる地域ですが、もう10年すると、本当に画期的に変わる地域ですので、皆さんがどうしたら興味を示してもらおうかということ、この10年が勝負だと思えますので、皆さんが10年後には本当にばりばりやる世代になってきますので、ぜひ、いいアイデアをお願いしたいと思っております。

さて、その次、「長野県内のポテンシャル 飯田・下伊那の将来」とあります。先ほども言いましたように、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道が開通いたします。リニアのことでいろいろ勉強された方もいると思うのですが、もう1回おさらいだけしておきます。

2027年に、今から11年後に、東京の品川から名古屋まで開通いたします。電車は開業と言うそうなのですが。そうしますと、東京・名古屋間が40分で結ばれます。飯田駅には各駅停車でとまりますので、相模原、甲府、飯田、中津川、名古屋にとまりますので、各駅停車で行くと、飯田までが40分で、名古屋までが20分となります。ですので、伊那や駒ヶ根の人たち皆さんも、まずは飯田駅までどのようなアクセスで来るか。飯田駅は上郷のあたりにできますが、そのあたりに来て、要は自分の住んでいるところから1時間強くらいで行けるところが東京になります。後ほどまた映像にも出ますが、6,400万人という人たちが、実は1時間圏内で結ばれるということになります。これは大阪まで開通した場合ですが。ですので、今1時間圏内で行ける人口の50倍くらいの方が交流人口でふえることとなりますので、まさにそのような人たちをどう取り込むかということが、飯田市を中心とした上下伊那地域、下伊那地域の最大のこれからの課題になってきます。

と同時に、三遠南信自動車道というものを皆さん聞いたことがありますか。この地図にもあるのですが、浜松まで開通いたします。これは今、普通の一般道や中央道など、東名を通っていくと2時間半かかりますが、この飯田からは90分で行けることとなります。法定速度で90分ですので、きっと皆さん飛ばすでしょうから、60分くらいで行けます。1時間で浜松まで行けることとなります。となると、静岡の人たちや愛知県三河方面の皆さんからも、この飯田近辺、そして駒ヶ根や伊那に、日帰り旅行だ、1泊だという方が入ってきます。まさにそのようなこととなります。今、三遠南信自動車道は、飯田側からと浜松側からどンドン工事をしておりますので、一説によると、あと1,000億円あると、こ

れが開通することになっています。今年の予算で 170 億ついていますので、10 年かからないかと思うのですが、そこで開通いたしますので、リニア中央新幹線が 11 年後と言いましたので、三遠南信自動車道が 10 年後に開通することになります。ですので、意外にこれは皆さん知らなかった方が多いと思いますが、三遠南信は三河と遠州、南信州の頭文字を取って、三遠南信自動車道になっていますので、こちらの物流が動きますね。トラックや自動車が走りますので、これからは静岡県のおいしい魚を皆さんが逆に食べに行くかもしれないし、そちらのものをこちらに持ってきて魚を食べる、あるいは、この地域の野菜や果物をこちらの方に届けるというような物流が動きますので、経済効果としては実はこちらの方が多くはないかと言われております。リニアとこの三遠南信で大変重要な地域になると思いますので、お願いしたいと思います。

特に伊那の方ですね。権兵衛峠も数年前に開きましたし、今、長野県は、縦の高速道路を使って長野県全体を盛り上げていきたいというようなことでやっておりますし、山で売っていきたく知事も申しておりますので、特にこれは観光が中心になるのですが、山岳観光ということで売っております。長野県は本当に有数たる山を持っている県ですし、特に世界の中でも本当に著名な山もあったり、今はハイキング感覚で山に登りたいという方が多いので、そのような方が、これから東京、また海外からもお見えになると思います。特に駒ヶ岳ですね。駒ヶ岳のロープウェイなどは大変な人出が入ってくると思いますので、ぜひそのようなことも考えてもらって非常にありがたいと思っています。

余談ですが、世界で一番、登山客が登っている山はどこか、ご存じですか。世界一登っている山。わかる？

○ 富士山。

熊谷 富士山など、いろいろ世界一ですね。ですが、実は富士山ではなくて、高尾山といって、八王子にあるちょっとした山、低い山。標高幾つだろう。千二三百ぐらいになるかな。そこにハイキング感覚で皆さん登っているのです。今、山のブームだそうですね。これはそこに見えます、風越山というのですけれども、そこと同じ高さですが……。ごめんなさい、ここと一緒かな。よくわからないけれども。ですので、これからリニアに乗って、山に登りたいという方が来ます。本当にハイキング感覚で来る山ですので、駒ヶ岳の千畳敷河原などすごく感動いたしますので、ぜひそのようなことも、これから、もし観光の部署や商工業の部署についての方は、もっともっとふやしていくといいのかなと思っています。

それと、この中にもありますが、これはまさに都会の人がとてもあこがれる地域がこの地域です。リニアがあいたときですね。自然や風土や歴史があるところがこの地域です。これは、日本全国どこに行っても自然はたくさんあるのですけれども、このようなものがミックスして、リニアで 40 分でこのようなところに来られる、1 時間近くで来られ



るといことがとても魅力的ですので、お願いしたいと思います。

それと、皆さん、新聞か何かでいくらか見たかもしれないのですが、この飯田・下伊那地域や、これは木曾も含めて全部ですが、「知の集積地」ということで今やろうとしています。このあたりは航空宇宙ということもしっかり産業で、ありますので。ただ、この地域には大学がなかったりします。短大はあるのですけれども、大学はないものですから、これから社会人の皆さんがもう1回勉強したいとか、全国から、そのような知の拠点ということで、頭のいい方にどんどん集まってもらって、この地域にしながら、ずっとこのような自然豊かなところでしっかり研究開発して、勉強していくところをしたいということで、今、飯田市長さんをはじめ、伊那市長さん、駒ヶ根市長さんと一緒になって伊那谷自治体会議というものをやっております。またいろいろところで新聞に出てくると思いますので、ぜひ皆さん、このようなポイントを押さえてもらいたいと思います。ぜひ、このような地域を盛り上げていくときには皆さんが腕となって動いていってほしいと思いますので、お願いしたいと思います。後で映像を見せたいと思いますので、お願いいたします。

続いて、地域のプロデュースということですね。皆さんのやっていることとは少し離れてしまうかもしれないのですが、今、各自治体がどのようなことで苦しんでいて、先ほども言いましたね、どのような売りをやっていきたいかということです。伊那谷地域全体は「知の集積地」や航空宇宙産業をやっていきたいということもありますが、皆さんそれぞれもがいていることは確かです。例えば下條村という、すぐ飯田市のお隣にある人口……。下條村の皆さんはいらっしゃいますか。4,300人ぐらいの人口ですが、これもいろいろ、総務省や国の関係の雑誌にもさんざん載りまして、話題にもなりました。この村がどのようなことを今までしてきたかという、今の伊藤村長さんという方が、81歳になられる村長さんですが、ここが、とにかく若者をふやそうではないかと。若者をふやすことが大事だということで、村営の住宅をたくさん建てました。6世帯が入るような、マンションまで行かない住宅を建てまして、そこに入られて、例えば保育料を安く高校までの医療も無料など、要は若者に対して住みやすい村ということで打ち出してやってまいりました。

そのかわりにですが、住民の方は「ここに道を造ってくれや」といろいろ言うてくるのですが、「そういったことはもう自分でやってください。そのかわり、材料は村で支給をしますので、自分たちの力でやってください」ということで、建設資材支給事業というのでやって、住民の方が草刈りとあわせて道を舗装するというようなことをやっています。そのようなことで経費を浮かせて、その分、子供の政策に充てようということやってきました。それと、あわせて職員がやはりもう少し、要はある意味サービス業でございますので、皆さんが来たときに明るく対応ができたり、いろいろ対応ができるということで、民間の企業に派遣したということをやっていました。半年単位、1年単位でやっていました。ということを下條村さんはやってこられて、今、『奇跡の村』という本も出ておりますし、そのようなこともやっております。きっとそれぞれ皆さん、各市町村でいろいろな政

策を打って、いい場面と、もしかしたらうまくいっていない場面もあるかと思いますが、このようなことを下條村さんはやってきましたと。

それと、私ども阿智村ですが、また後で映像を見せますが、私どもは、先ほど言ったように、人口 6,500 人の村で、70 人ずつ減っていています。何とか、人をふやしたいということもあるものですから、そのような政策を打っておりますが、そのかわり、先ほど言ったように、昼神温泉という温泉があるものですから、こちらにいろいろ含めて年間 120 万人の観光客に来てもらっています。ですので、観光に来た皆さんに、何とか、いつかはここに住んでみたいと思わせたいものですから、例えばわれわれ住民の皆さん、村の人たちみんなが観光の案内ができる村にしたいとか、入った途端に花がたくさん咲いていたりというような村にしようではないかということで今、取り組んでいます。それで、温泉だけでは、もちろん今、日本全国、温泉はたくさんありますから、下がってってしまうものですから、皆さんが昔から見ている、当たり前のようにある地域資源を生かすような観光をしたらどうか。要は、着地型観光というのですが、温泉に来たお客さんにそこにとどまってもらうというような観光をしたいということで、後で見るのですけれども、星のことに一生懸命取り組んでやってまいりました。詳しくは映像で見てもらいたと思いますが、そのようなことをやってまいりました。

ですので、これは皆さんのところも一つそうですが、どこかの地域に来たら、点在してもらって、ここに 1 泊、2 泊してもらうというようなつもりでやっておりますので、このようなことでいつかはこのファンをふやす、これからの 10 年が大事なものですから、というようなことをやっております。ですので、私どもは「阿智家族」というキャッチコピーをつくりまして、みんなが家族なのだよということで、定住をふやしてこうというようなことをやっています。そのようなこともあって、いろいろな政策の論議があると思いますので、ぜひお願いしたいと思います。

それでは、皆さんにここで映像を見せたいと思いますので、それぞれ 7 分番組ずつくらいでございます。最初に、先ほど言った、リニア中央新幹線や三遠南信が来たときにこの地域がどうなるかということ、実はこれは経済界が作った映像になりますので、経済的な論点が少し強いのですが、後ほどまた難しい面も話をしますが、最初にこれを見てもらいます。その後、阿智村のものを見てもらいたと思いますので、お願いしたいと思いません。先ほど言いましたように、2027 年になりますので、これは伊那の皆さん、駒ヶ根の皆さん、上伊那の皆さんも一緒でございます。

(反訳範囲中断)

ありがとうございました。このような実は将来になるのですけれども、確かに、これは経済界が作ったので、いいようには作ってあります。ただ、このような行政の皆さんの立場になりますと、例えばこれは開発のときに自然が壊される、また、いろいろ日陰の問題や、残土もどうするかという、実はすごくそのような問題もありますので、そのようなことに対応しなくてはいけないのがわれわれ行政の立場になると思いますし、また、住民の

立場に立って考えなくてはいけないということもあります。これは、恐らく沿線の市町村の皆さんもいらっしゃると思いますので、またいろいろな問題もあると思うのですけれども、そのようなことも考えながら、そして、そうはいつでも明るい未来がありますので、このような方向も探りながら、ぜひお願いしたいなと思っています。

それでは、もう1本見てもらいたいのですが、先ほど言った、私ども阿智村の宣伝めいた形になってしまうのですが、このようにして地域振興をやっているということも、ぜひ見てもらいたいと思います。「あさチャン！」という、朝、番組をやっていますね。夏目さんがやっているものですが、あれに、実は去年の7月ごろ放映された分ですので、ぜひ見てもらいたいと思います。

(反訳範囲中断)

ありがとうございました。このような感じでやっております。宣伝のようになってしまって、まことに申しわけなかったのですが、これは実はかなりヒントでして、皆さんの地域でも、各市町村でも、何か必ずそのような売りにするものが一つあると思います。ぜひ掘り起こしてもらって、実はこれもそうなのですが、失敗を何度も何度も繰り返してここまで来たということが一つです。また、これは行政だけではもちろんできなくて、特にこの阿智村に住んでいる若い方や観光業者の方などが一緒になって、どうやって地域を盛り上げていったらいいかということ、仕掛けを村の方もしましたし、予算の方もありましたけれども、ぜひ皆さんヒントにしてもらいたいと思います。

宣伝ですけれども、このような本も、今、平安堂で出ておりますし、今の物語を書いた本や、今度7月7、8と、大塚愛さんがここに来てコンサートをやりますので、もし来たい方はぜひチケットをお求めいただければありがたいかと、そのように思っています。そのようなことで、このような自然をテーマにしたことは一つまたヒントですので、お願いしたいと思います。

では、最後になりますが、私から最後に言いたいことは、ぜひ世の中の動きや、今、時代はどうかということ、常を確認してください。特に、若い方は皆さん新聞を読んでいると思いますので、新聞を、ネットでもいいと思うのですが、読んでいただいて、国の動き、長野県の動き、そして自分たちの地域はどのような動きがあるのだということを確認いただいて、県もどんどんいろいろな発信をしてもらっていますので、そのような方針に沿った自分たちの地域がこのような事業をやると、予算もつきますし、いろいろな補助も受けられると思いますので、お願いしたいと思います。

もう一度、最後になりますが、皆さんの世代に、どんどんこれから画期的に変わる地域になっていくと思いますので、ぜひ頑張ってもらって、いいアイデアを出してもらって、そして同僚はとても大事ですので、しっかり、ずっと一生涯、悩みが打ち明けられたり、相談ができる友達にいるように、ぜひ、そのような思いをお願いしたいと思います。これからゴールデンウイークに入りますので、ぜひもう一度見詰め直してもらって、また新たにゴールデンウイークから活躍を期待して、私からの最初の講演とさせていただきます。

思います。皆さん頑張ってください。ご清聴ありがとうございました。